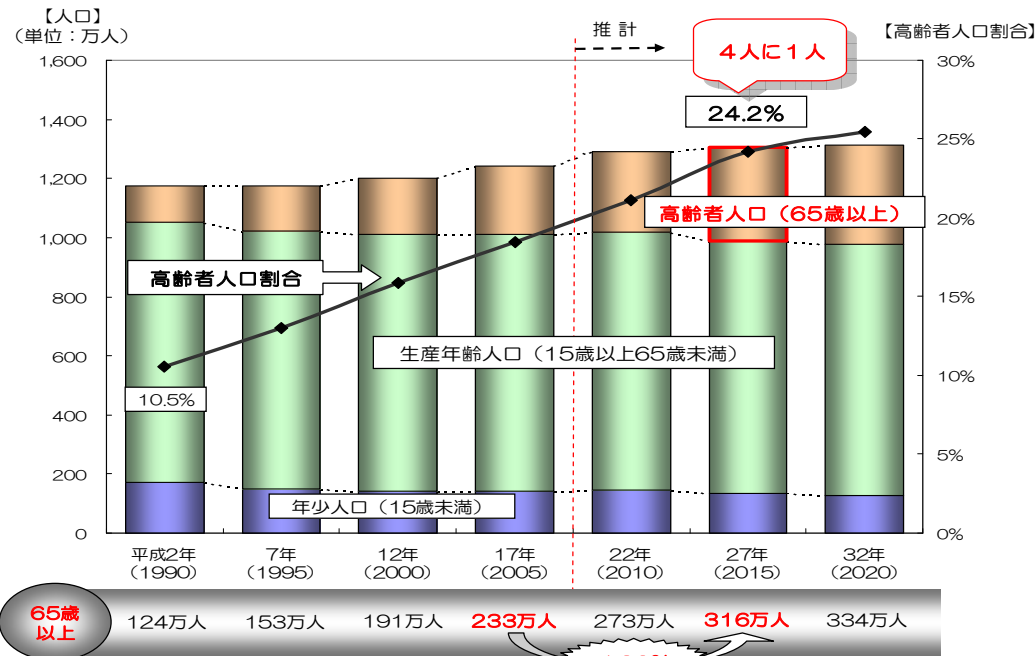


東京の高齢者を取り巻く状況

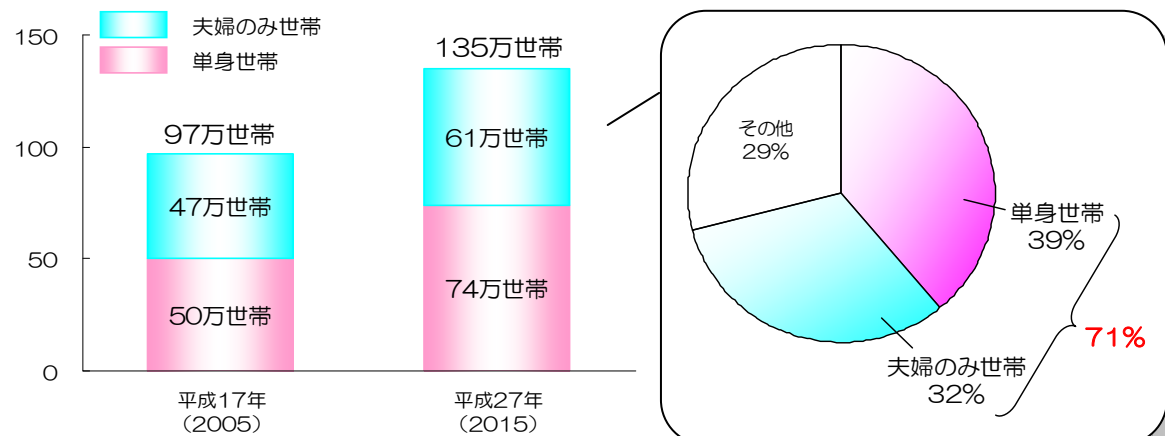
超高齢社会の到来

平成27年（2015年）には、都民の4人に1人が65歳以上の高齢者となります。



総務省「国勢調査」(～平成17年)より
国立社会保障・人口問題研究所「都道府県の将来推計人口」(平成19年5月推計)より

平成27年（2015年）には、高齢世帯の7割が、「単身」または「夫婦のみ」の世帯になります。

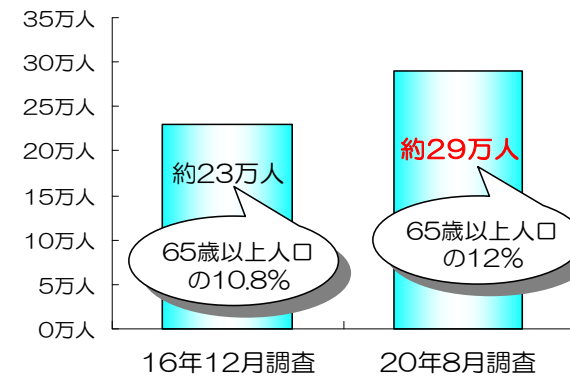


資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）」(平成17年8月推計)より

認知症高齢者の増加

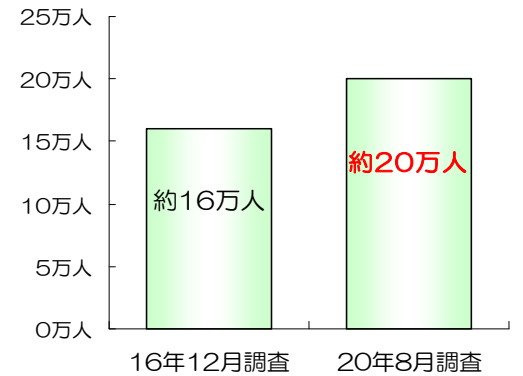
認知症や支援を必要とする高齢者が増加しています。

◇ 何らかの認知症の症状がある高齢者（認知症高齢者日常生活自立度Ⅰ以上）は、都内に約29万人



東京都「認知症高齢者自立度分布調査」より

◇ 見守りまたは支援の必要な認知症高齢者（認知症高齢者日常生活自立度Ⅱ以上）は、都内に約20万人

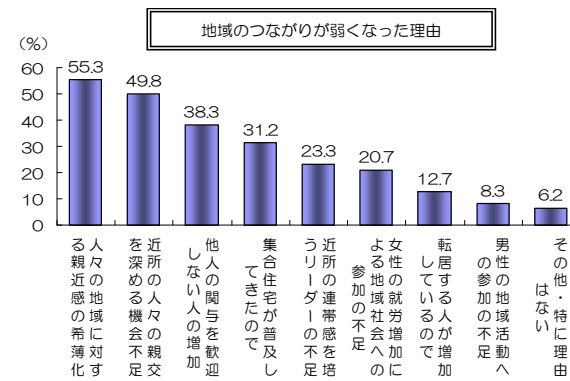


東京都「認知症高齢者自立度分布調査」より

地域社会の変化

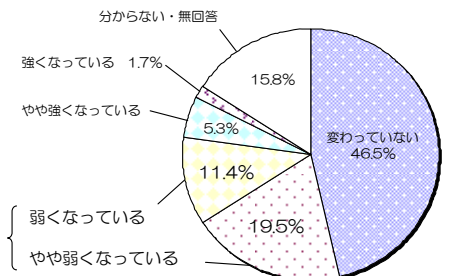
地域の支え合い機能が低下しています。

◇ 国民生活白書によると、地域のつながりが弱くなっていると考えている人が約3割で、人々の地域に対する親近感の希薄化などが主要因に挙げられています。



内閣府「平成19年版国民生活白書」より

10年前と比較した地域のつながりの強さ



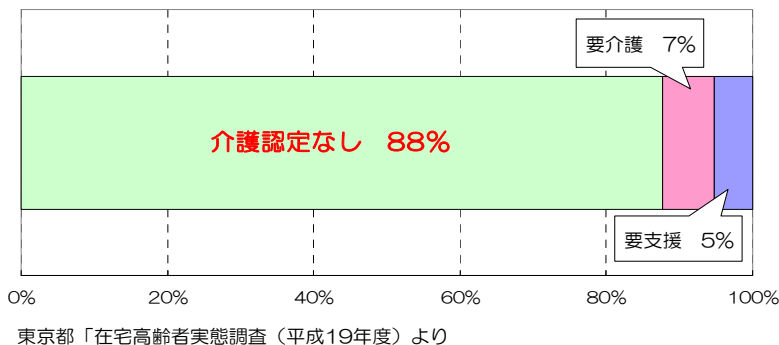
内閣府「平成19年版国民生活白書」より

◇ 東京都では、就業している団塊の世代やその周辺世代の約7割がサラリーマン世帯です。サラリーマンは職住が分離しているため、地域との結びつきが弱くなりやすい傾向があります。

元気な高齢者の存在

65歳以上の8割を超える方が介護保険の介護を要しない高齢者です。

団塊の世代の多くが東京に住んでいます。



	団塊世代人口	比率
東京都	62万人	9.1%
神奈川県	45万人	6.6%
千葉県	34万人	5.0%
埼玉県	39万人	5.8%
大阪府	49万人	7.2%
...		
全国	678万人	100%

総務省「国勢調査結果（平成17年10月1日現在）」より

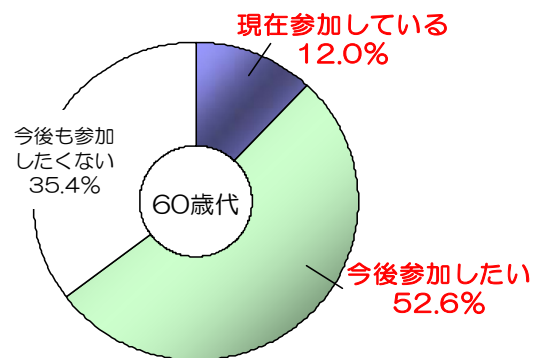
地域活動への興味

団塊の世代や元気な高齢者は、潜在的に地域活動への高い参加意欲があります。

◇ 60歳代の半数以上が、地域活動に参加意欲があると回答しています。

◇ 年齢が高くなるにつれ、より地域に身近な活動へ関心が高くなる傾向が見られます。

半数以上が参加意欲あり



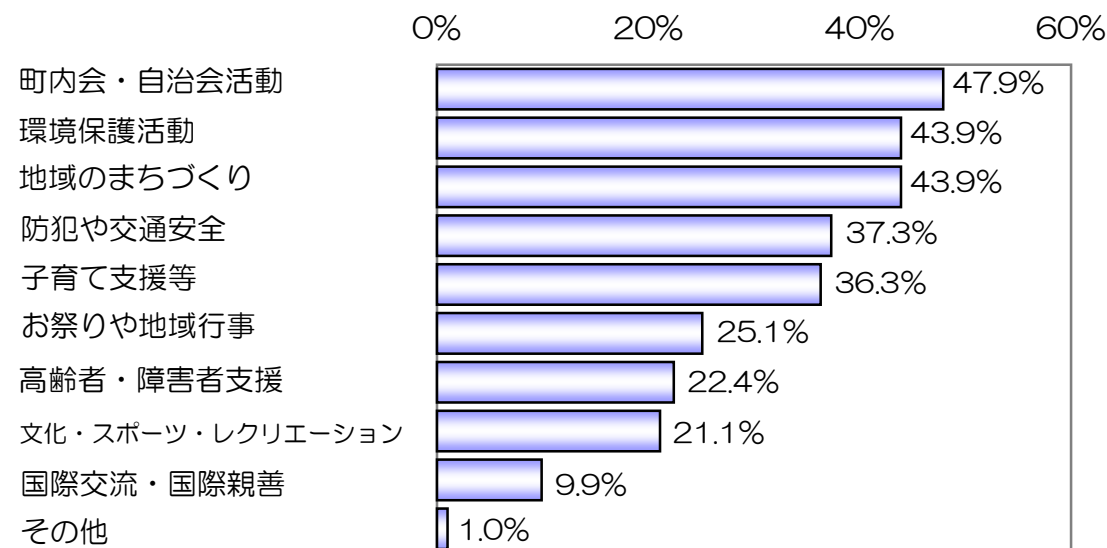
内閣府「平成16年度国民生活白書」より

	興味ある内容	
	50歳代	60歳以上
第1位	文化・スポーツ・レクリエーション (53.1%)	文化・スポーツ・レクリエーション (53.2%)
第2位	高齢者・障害者支援 (35.9%)	地域のまちづくり (40.4%)
第3位	環境保護活動 (34.4%)	町内会・自治会活動 (36.2%)
第4位	国際交流・国際親善 (32.8%)	環境保護活動 (35.1%)
第5位	子育て支援等 (29.7%)	高齢者・障害者支援 (25.5%)
第6位	町内会・自治会活動 (25.0%)	国際交流・国際親善 (23.4%)
第7位	地域のまちづくり (25.0%)	防犯や交通安全 (23.4%)
第8位	お祭りや地域行事 (18.8%)	子育て支援等 (22.3%)
第9位	防犯や交通安全 (15.6%)	お祭りや地域行事 (13.8%)

東京都「平成20年度第3回インターネット都政モニターアンケート」より

地域の期待

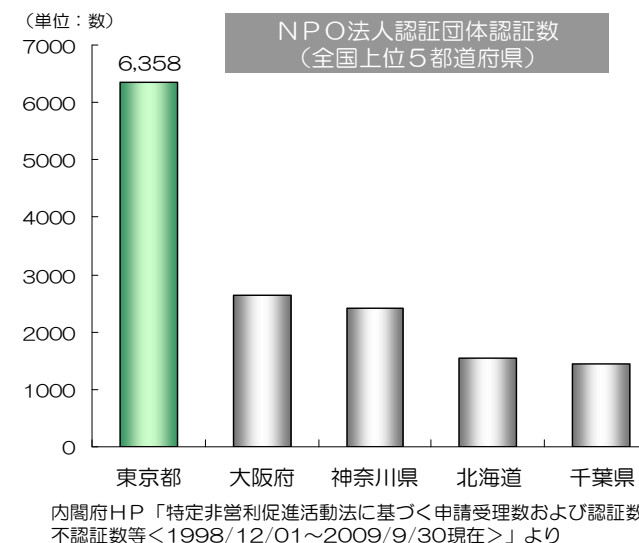
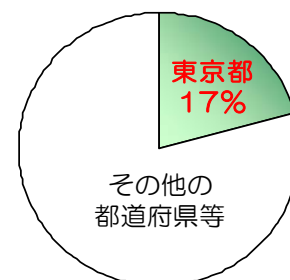
団塊の世代や元気な高齢者の無限の可能性に大きな期待を寄せています。



東京都「平成20年度第3回インターネット都政モニターアンケート」より
これから高齢期を迎える人たちに期待する地域活動や社会貢献活動について聞いたもの

東京には皆さんの力を十二分に発揮できる多くの地域団体等が存在します。

◇ 例えば、東京には全国の約17%の認証数を占めるNPO法人をはじめ、地域で多くの団体や組織が多種多様な活動を展開しています。



「Tokyoシニア情報サイト」
～東京の団塊の世代・元気な高齢者の「地域デビュー」応援します！～

<http://www.senior.metro.tokyo.jp>

